

2026年3月期 連結業績(売上高、純利益ともに過去最高) (億円)

	2025年 3月期	2026年 3月期	増減
売上高	8,072	8,116	+44 (+0.5%)
営業利益	401	329	▲72 (▲17.9%)
経常利益	329	289	▲40 (▲12.1%)
純利益	253	310	+57 (+22.4%)

\*売上高は過去最高、営業利益は塩ビのアジア市況低迷・MOD・MSの米国住宅・建築市場の需要低調が続くも、医療器の拡販、サプリメントのグローバルでの販売伸長あり。純利益は政策保有株縮減が進展し過去最高益

2027年3月期 通期業績予想(売上高・営業利益は増収・増益を計画) (億円)

	売上高	営業利益	純利益
2027年3月期予想(A)	8,200	360	315
2026年3月期実績(B)	8,116	329	310
増減額(A-B)	+84	+31	+5
増減率(%)	+1.0%	+9.4%	+1.7%

セグメント別業況

① Material Solutions Unit :

塩ビはアジア・国内の市況低迷が続く。MODは欧米の住宅・建築市場低迷が長期化もMXなどの高付加価値製品の拡販が進展、MSは欧米での需要調整が続く中でた素材からの置換・販売地域拡大が伸長。Green Planetは国内外で多様な用途で採用が拡大。

② Quality of Life Solutions Unit:

発泡は価格改定・コストダウンなどによりスプレッド改善が進む。電材はポリイミドフィルム・アクリル樹脂は堅調も原料高などにより減益。太陽電池はタンDEM型ペロブスカイト太陽電池がNEDOグリーンイノベーション基金事業に採択。繊維は頭髮向けはグローバルに需要が伸長、難燃ファブリック向けは原料高によりスプレッド低迷。

③ Health Care Solutions Unit :

医療器は血液浄化器・カテーテルの拡販が進展し最大の収益事業へ、販売地域拡大とともに脳血管治療領域などで新製品の市場投入を継続。医薬は低分子・バイオ医薬品の需要調整が長期化するも新規案件獲得が進む見通し。

④ Nutrition Solutions Unit:

サプリメントは還元型Q10がグローバル市場での拡販が進展し、乳酸菌事業も着実に販売が伸長。食品は価格改定・高付加価値品へのシフトが進む、「B2C」製品の拡販を進める。

2025年度実績 :年間配当金160円/株(対前年+30円/株)

: 自己株式取得120億円

: 配当性向31.9%

2026年度計画 :年間配当金210円/株(対前年+50円/株)

: 自己株式取得70億円

: 配当性向40.2%